

Lesson 02

「プロ」とは（前編）

ニスコパーソナル 琴似教室 / 平岡公園教室

こんにちは。

ニスコパーソナル

琴似教室・平岡公園教室統括の朝日です。

以前、東京で映画やドラマの編集マンをやっている友人と話をした時のことです。

「**プロとは…**」という話題になりました。
その時その友人が話してくれた内容に

かんめい

私はとても感銘を受けました。



友人 「昔の新人は技術のノウハウなんてなんにも知らない人ばかりだったけど、最近は独自に学んでかなり高度な技術を持って面接を受けに来る者が多いんだよ」



朝日「へえ、そんな人ならすぐに現場で活躍できるね」



友人「いや、難しいことがほとんどだよ。実際はプロからは遠いかな。」



朝日「え、高度な技術はあるのに？」



友人「うん。面接に来る時に自作の作品を持ってくる人は最近多くなった。見てみると確かになかなか良くてきている。これはすごいと思うものもあるよ。でもダメなんだ。」



朝日「そうなんだね。それはなぜ？」



友人「要は『**時間**』だよ。彼らにその作品をどれくらいの期間で仕上げたか聞くと、一か月、半年、一年、果ては学校の入学から卒業までかかったと言うんだ。」



朝日 「確かに…仕事と考えると時間がかかりすぎかも。じゃあ、プロなら？」



友人 「3日ってところかな。『時間をかけて良い作品が出来ました！』では趣味の延長でしかないよ。短期間で最上の結果を出せなければ仕事にならないからね。**時間との勝負に勝てるのが俺たちプロだ**と思っているよ」

彼の言葉は、私の胸に響きました。

彼はプロフェッショナルであることを常に追求していました。

私も塾講師・受験のプロとして
けんさん

日々の研鑽を怠ることのないよう
過ごさねばと改めて思いました。

いまし

私は自分への戒めのためにも、
度々彼の言葉を思い出そうにしています。

さて、ここからは勉強のお話。
強引にテストに置き換えてみます(笑)

“時間との勝負に 勝てるものこそプロだ”

テストはまさに時間との勝負。
この短時間の中で勝ち抜くには
多くの要素が必要です。

集中力、知識量、精神コントロール、
解答スピード、発想力…など

これらを総合したものが実戦力です。

こく
酷なことを言いますが、
「家に帰って解きなおしたら解けた」
というのは実戦力ではありません。
(lesson1参照。)

そして、皆さんはテストという名の
「時間との勝負」に勝たなくてはなりません。

入試本番までの時間も限られています。
ですから、期限内に自分の実力を高めて
勝負にでなくてはなりません。

刻一刻と減っていく時間を意識すると怖くなることでしょう。

だからと言って
目をそらしては
何も解決しません。



考えるべきは

**残された時間をどれほど濃密に
過ごすことができるか**

です。

私たちは塾生の皆さんに
濃密な時間の過ごし方を
徹底的に指導してまいります。



私もプロとして
みなさまの時間との勝負に勝つべく
最上の仕事をいたします！

（後編へ続く）

